

登録コード	E2850900	開講年度	2026		
授業科目	生活情報処理				担当教員 山岸 明浩
英文授業名	Fundamental Information Processing in the life				副担当
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・4時限
講義室	教育学びセンター 201	授業形態	講義・実技	遠隔授業科目	
備考					
信大コンピテンシー	非該当				
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】
	23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ				
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				高等学校の家庭科を担当する教員として、情報機器の習熟とともに情報活用能力・論理的思考を活かした教育活動を行う上で必要不可欠な専門的知識と技能を身に付けるとともに、学んだ知識と技能を実践しながら、それらを振り返り、常に改善し、磨き上げていこうとすることができる。
(2)授業で学べる「テーマ」	その他				
(3)全学横断特別教育プログラム					
(4)授業の概要	現代社会におけるIT技術の進展が家庭生活に果たしている役割や影響、および情報のモラルやセキュリティ管理の必要性について理解する。また、コンピュータのハードウェアとソフトウェアの仕組みや役割についての理解を通し、情報処理手順について修得する。実践的な内容として具体的なプログラミングの実習を行い、情報を収集、処理、発信する情報活用能力を養う。				
(5)授業計画	第1回：ガイダンス 第2回：コンピュータの歴史と情報化社会 第3回：ハードウェアの役割と仕組み 第4回：ソフトウェアの役割と仕組み 第5回：情報の表現と情報処理の概要 第6回：情報モラルとセキュリティ 第7回：家庭生活とコンピュータ 第8回：日常生活における情報処理のしくみ 第9回：情報の入力役割と課題 第10回：情報の入力のしくみとプログラミング 第11回：情報の出力の役割と課題 第12回：情報の出力のしくみとプログラミング 第13回：情報の修正の役割と課題 第14回：情報の修正のしくみとプログラミング				
	授業アンケートを実施 定期試験(課題提出)				
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次のとおりである。 ・情報処理について、日々自らが考え、課題探究に努めることができるかを測る小課題 30点 ・家庭分野における情報に関する知識・技能を備え、それらを応用できるかを測る課題 70点 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。				
(7)成績評価の基準	(a)家庭生活と情報社会のかかわりについての理解, (b)情報処理の仕組みについての理解, (c)プログラミングによる情報処理能力について, (a)～(c)の項目について基礎的な習得ができていれば「合格水準にある」, どれか1項目について卓越した習得が認められれば「やや上にある」, どれか2項目について卓越した習得が認められれば「かなり上にある」, 全項目について卓越した習得が認められれば「卓越している」。				
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業では、前週、または次週の授業内容にかかわる発問を毎回行うので、履修にあたっては事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。 この授業は、90時間の学修を必要とする。従って、60時間以上の時間外学習が必要となる。				
(9)履修上の注意	・全回出席すること。理由の如何を問わず、欠席回数が多く授業の達成目標に到達することができない場合、単位認定に至らないので注意すること。 ・コンピュータ実習では、授業中に習得した内容が大切になるので、授業内容の理解を深めるために予習・復習を行い、欠席した場合は欠席した授業の内容を必ず事前に補うこと。 ・原則として対面で実施する(初回の授業は、履修生の全体状況を把握するため対面とする)。				
(10)質問、相談への対応及び連絡先	質問、相談は主にメールで応じる。 山岸明浩 yamaaki@shinshu-u.ac.jp 026-238-4187				
【教科書】	授業時に適宜紹介する。				
【参考文献】	授業時に適宜紹介する。				